



海軍大臣侯爵西郷從道殿

常備艦隊司令官野村貞

明治三十二年八月廿四日馬尼刺灣

追テ日本公運送船ジョーランドア号長崎直航
 通牒アリシニヨリ不取敢要件ノ三報告仕候旨
 以副申仕候也



旗丁番三三二号



大正十一年
 侯爵西郷從道殿
 御寄附

414
 A 814
 1

264



西軍降服ノ條約

西軍降服ノ條約

西軍降服ノ條約

西軍降服ノ條約

西軍降服ノ條約

西軍降服ノ條約

西軍降服ノ條約

西軍降服ノ條約

大正十一年四月



○西軍降服ノ條約

比列賓群島司令長官陸軍少將「ウエスメリット」及比列賓群島ニ於ル西國陸軍司令長官「ドンラエル」ニレハウテ又閣下トノ間ニ前日協定セラレタル條約ニ基キテ馬尼刺市同防禦物并ニ郵外引込及馬尼刺市ヲ守衛セシ西軍降服ノ細目ヲ規定スルガ爲メ任命セシ先下記ノ要項ハ左ノ條約ヲ締結セリ

一 西國軍隊ハ政務人タルト土人タルト同ハス戦陣ニ於ル凡テノ名譽ヲ保ツ要塞及防禦物トモ降参シ西軍殘存者同ニ平和條約締結セラル、追其兵器ヲ末國官吏ノ指示シル場所ニ預ケ其指定シル家屋ニ倉庫ニ所属長官ノ命令及末國官吏ノ監督ヲ受ケ可シ降服ノ條約中ニ包含セラル者ハ凡テ自由

- 一、將校ハ引継キ其居宅ニ住シ住所ニ關スル規則及現行法律ヲ遵守スル間ハ之ヲ侵スコトナカル可シ
- 二、將校ハ携帶兵器及私有物ヲ保存ス可シ
- 三、凡テ公有馬匹及各種公有物ハ米國政府ノ指定シタル者漢將校ニ之ヲ引渡ス可シ
- 四、軍隊ノ詳細ナル調査書公有物ノ明細ナル目錄及倉庫現存品ハ本日ヨリ十日以内ニ之ヲ米國政府ニ引渡ス可シ
- 五、西國ノ將校下士卒及同族ノ帰國旅費ハ關スル諸問題ハ在華盛欽政府ニ之ヲ決定ス可シ
- 六、西國ノ將校ハ都合次第馬尼刺ヲ去ルコトヲ以テ西國軍隊ノ預ル兵器同軍隊若クハ米國軍隊ニ交還ス可シ
- 六、西國ノ庫、現存金及其他ノ公金ハ米國政府ニ引渡ス可シ

七、馬尼刺市其住民寺院、會議、學校、及各種ノ私有物ハ米國軍隊ノ信義及名譽ヲ保護シ去ルコトヲ置ケリ

一九〇八年八月十四日於馬尼刺

米國義勇軍陸軍少將 イフウイグリン
外將校 六名

○米西平和條約(八月十七日米西聯隊司令長官より本軍へ通知) 譯文

大統領カ署名シ先條約書ニ交戦及和議ノ勅作ヲ休止ス此條約書ニ據リテ合衆國ハ比律賓ノ管理讓與及統治權ニ之ノ平和妥協ノ完結スル迄馬尼刺、都府及港灣ヲ占領保持スルニトス

○比列賓群島人民討スルメリト少將ノ論告

非律賓島人民ニ告ク

一 米國及西班牙間ノ戰爭ハ今年四月廿日ヨリ成立セリ再後此島嶼ノ西班牙艦隊ハ米國艦隊ニ殲滅セシ馬尼刺市及ビ其市ノ砲台ハ陷落シ而テ同地ノ西班牙軍隊ノ米軍隊ニ降服セシハ爾ガノ親シク目撃スル所ナリ

二 今ヤ米國占領軍ノ司令官ハ本國政府ヨリノ訓令ニ據シ比列賓島ニ来リシハ人民ニ對シテ我ヲ挑ム非ラズ美兵オヲ保護シ其伯人及ビ宗教上ノ權利ヲ保護スルガ爲メニ来リシ由ヲ知ラシム故ニ今固ク奉ニ戻シ米國ニ助力ヲ與ヘ又ハ違カニ服従シ若クハ共同ノ運動ヲ爲シタルモハ其報トシテ米國政府ノ救助ト保護ヲ受クルヲ可シ

三 米國カ此地ニ建設シ先政府ハ軍隊占領ノ政府ナルヲ以テ伯

人及ビ財產ニ關スル私權、地方ノ法律、犯徒ノ處罰ニ關スル如キ規定ハ目下依然トシテ其効力ヲ有シ、占領以前ノ比列賓島ノ裁判所ニ於テ施行シ可ク、但シ裁判官ハ占領政府之ヲ任命スヘシ

四 馬尼刺市及ビ其地方ニ人ノ憲兵總此ヲ置キ此地ヲ數區ニ分ケ各區ニ人ノ憲兵副總此ヲ置ク可シ憲兵總此及ビ副總此ノ職務ニ關スル詳細ハ今後之ヲ發布スベシト虽氏大體ニ於テハ條軍法及ビ民法ノ犯罪者ヲ捕縛シ軍法會審ニ於テ審議スベキモノハ其罪狀ノ性質ト証據人ノ姓名ト共ニ之ヲ其管轄ニ送致シ、又法地及ビ令收發布スル刑令ニ遵由シ軍法委員會、憲兵法院若クハ普通ノ刑事裁判所ニ屬スベキ犯罪者ハ之ヲ監獄ニ拘留スヘシ

五 馬尼刺港及比列賓島ノ諸港ニシテ實際吾海陸軍ノ占

領ニ屬スルモノハ此占領ノ継続スル間ハ米國及ビ凡テノ國民ノ商業ニ對シ開放セラル可シ但シ戰時禁制ヲ業シ且ツ輸入ノ時ニ於テハ規定ノ關稅ヲ拂フベシ

六有ラ元寺院、宗教的禮拜所、捧ケラレシ土地又ハ技藝、文學、陳列所、教育館、圖書館、存在スル場所ハ可成的之ヲ保護スベシ故ニ歴史的紀念物、書錄、若クハ學術美術、若クハ破壞若クハ故老ニ換亮スルモノハ堅ク之ヲ禁止ス但シ軍隊必要ヨリ元モノハ制限ニ非ズ而テ以上ノ命令ニ及クモノハ之ニ重罰ヲ加フ可シ

上項ニ記載シタル場所及ビ物品ノ管理者ハ其狀態及ビ位置ヲ記シタル報告書ヲ送リ司令部ニ差出し自己ノ見テ以テ恰當ナリト爲ス所ノ保護法ヲ上申セバ其保護ニ關シテ武文官ヨリ共同ニテ適宜ノ訓令ヲ發スベシ

七陸軍司令官ハ既ニ本國政府ノ任命ニ從カヘ、軍隊政府ノ建設ヲ發布シ、且ツ陸軍總督トシテ其職務ヲ遂行スルニ當リテハ、馬尼刺人民ニシテ予知ヲ保持シ且ツ米國政府ノ代表者ニ對シテ其義務ヲ尽ス以上ハ決テ其身、體財產ノ毀損セラルコトナカル可シ但シ米國ノ便益トシテ、米國人民ノ利益ニ關シテ必要ト認メタル場合ハ此限ニ非ラス

一千九百十八年八月十三日

米國陸軍少將 ウエスレー、ノリット

○馬尼刺府知事以下ノ任命(八月十三日カヤセヨナシ)
馬尼刺府知事 尹格國長少將 マクアトヤ
日財務部長重樞長重藤國長少將 グリーソン

同知港子 海軍大尉 グラウツス
同書泥衣少 オリト蔭お右大佐 バブゴック

○避難者、始末
本邦ノ避難者(内地人)及エスカイ号西玉婦女子が八月十日
退去十八日エスカイ号築港防波堤内ニ入ル

○占領後ノ概況

- 一、占領後米軍ハ着々市内ノ警邏ヲ爲シ高買店舖ノ
營業銀リ郵便電信局ノ開燈台ノ点燈カビテ
馬尼刺間空期船ノ開通路ニド旧ニ復シテリ尚ホ鐵
道モ二三日内ニ全通スルト云フ
- 二、西軍隊ハ前文降伏條約ニ基キ所置ニ將校以上ハ依然自
完又ハ旅館ニアリト密氏下士卒ハ寺院學校及公有家

- 屋ニ於テ米國ノ扶持ヲ受ケ奉動極テ手穩ナリ食物
ハ麵包ニ極シニ米食ナルヲ以テ病人ノ數モ頗ル多シ
- 三、米軍及殺徒ノ折合ハ因滑ヲ欠クノ感心アリト虽凡手和条
約結定莫ハ衝突者クハ著シキ運動ヲ爲サル可シ
- 四、殺徒ハ既ニトンドパゴー及エルミタニ屯營シ兵器ヲ携帶
セサルモノ、外城内ニ入ルヲ許サル
首領アキナルドハ依然バニル本營ニアリテ威名益々熾ナ
リ他ノ重々首領ハ數日來エルミタニ集合セリ
- 五、占領後食料ハ愈ニ殺徒屯營地ヲ經テ市内ニ來ルヲ以テ
其妨ヲ受ケシモ昨廿三日ヨリ稍多量ノ供給ヲ始ルニ至ル又
水源地モ殺徒ノ占有タリシヲ以テ多量ノ飲用水ヲ始
ル能ハサリシカ是又昨廿三日ヨリ旧ニ復シタリタルニ至ル
ト云フ蓋シ米軍總督ト殺徒首領間ニ何カノ折

合附シモノナラシカ

六、西国軍人及在滿人民(西人)一般ノ哀憐ハ米國若シ比列
賓ノ占領ヲ放棄スルモ西兵再ヒ金島ヲ鎮定シ之ヲ誰
持センハ非常ノ兵カヲ要シ且西兵既時ノ状態ニテハ到
底出来ル可ラサルモノト斷念シ居ルモノト此シ

七、八月十五日英艦イモタリヲ号米子國旗ヲ掲ノ廿一
祝砲ヲ發シ米艦若砲ス帝國存ニ佛独指揮友ハ祝
砲也ス

